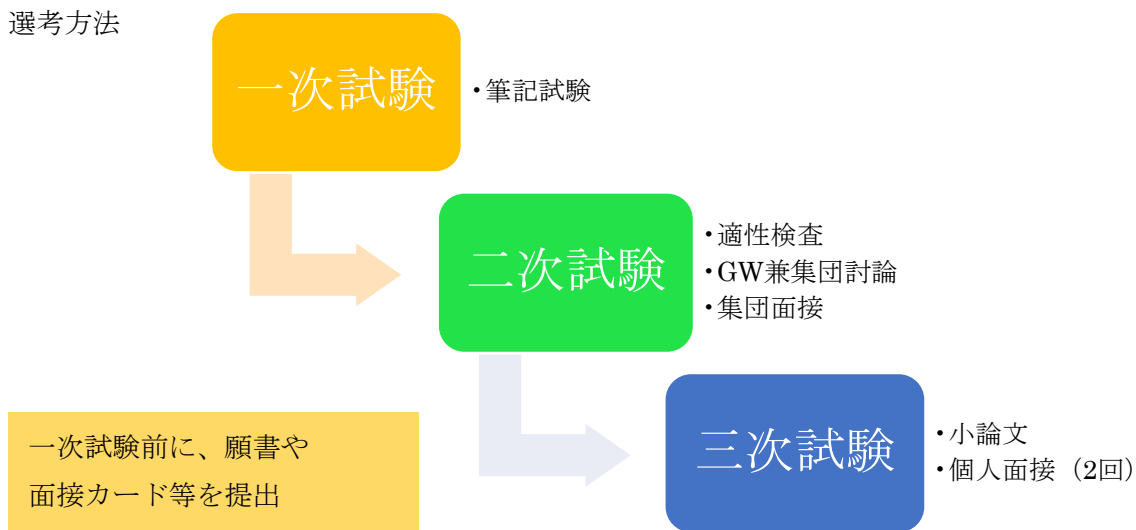


〈就職活動日誌〉

〈内定先〉

業種：地方公務員（一般事務）

選考方法



公務員試験の場合は、小論文や集団討論が入るものが多いです。

その他プレゼンテーションを試験項目として扱っているところもあります。

また、近年は面接重視の自治体も多い。

〈就職活動の流れ〉

2016年 春

- ・公務員志望に決める→学内の公務員講座に申し込み
- ・公務員講座開始

2016年 夏

- ・インターンシップ（8月～9月）に参加しながら講座の授業に参加

2016年 秋

- ・講座の授業数が増える

2016年 冬

- ・面接、小論文についても学ぶ

2017年 2月

- ・スーツ着こなし講座参加
- ・就活メイク講座参加
- ・就活用写真撮影

2017年 3月～9月

・基本公務員一本での就活。働きたいと思える自治体が4つあり、そのすべてが不合格だった場合に民間に切り替えようと思っていました。

	春			夏			秋
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
A		説&願書	一次				
B			説&願書		辞退		
C				願書	一次	二次&三次	合格
D						願書	辞退
民間		説				説&履歴書	説

※表の補足

- ・A～Dは市役所で、Cが内定先です
- ・説→説明会参加、願書→願書提出、履歴書→履歴書提出
- ・Aは一次試験が不合格だったため、5月で試験終了
- ・Bの一次試験がCの二次試験と重なっており、Cが一次合格のためBは辞退
- ・Dに関しても、試験前にCの最終合格がもらえたので辞退

- ・4月頃からは頻繁に面接練習を行っていた
- ・8月からは小論文の練習も本格的に開始
- ・9月頭にC市役所から最終合格がもらえたため、就活終わり
- ・民間企業から面接選考への案内を頂いたが、全て辞退

〈いただいた質問について〉

インターンシップは参加すべき？

志望度が高ければすべきだと思います。もちろん、説明会参加やインターンシップへの参加をすることで、その企業を全て知れるわけではありません。ですが、参加しないよりは企業やそこで働いている人たちを理解することができると思います。何よりのメリットは、参加をすれば自分だけのエピソードが作れる点だと思います。

似た企業、すでに説明を聞いたことのある企業が参加する合同企業説明会には行くべき？

自分の参加姿勢によりますが、損はないと思います。似た企業が集う場では違いが何か見極める良い場だと思いますし、同じ企業の説明会に出向き質問等をして顔を売ってれば、覚えてもらえます。実際に、同じ会社の説明会やインターンシップに複数回参加していた友人は、顔を覚えてもらえ特別なルートで選考を受けていました。

興味ある分野を広めるにはどうすべき？

合同企業説明会へ出向くのが手っ取り早いかと思います。そこにはいろんな業種の企業があると思うので、意識的に興味のない分野の話を聴いてみてください。そうすることで、興味が持てるようになったりもするかと思うので。

就活に関する相談はどこでしていたか？

私は、公務員講座の人、キャリアセンターの人、ハローワークの人に相談する機会がほとんどでした。相談はもちろんのこと、面接練習、履歴書等の添削、小論文の添削もしてもらいました。

何か資格はとったか？

2年生の時は観光系の仕事に興味があったこと、単純に趣味としてのやりたさから、世界遺産検定を取得しました(3級だけど・・・)。あとは茶道の初級資格も一応履歴書等に書きました。確かに、資格が無いと選考に参加できない場合もあるかと思うので、まずは選考に応募したい企業が資格を必須としているか調べてください。ちなみに面接で資格に触れたことは一回もありません(笑)。会社によっては内定後に資格取得を課される場合もあります。そういった点や、持っていて生かせる面が多い資格であればチャレンジしても損はないと思います！

就活の軸は？

私は以下の2点を特に重視していました。

- ・これまでの経験や学んできたことが生かせるか
- ・そこで働いている人たちの人柄

軸は人によってさまざまだと思います。専攻と関係している分野を選ばなければいけないということもありません。

バイトはどうしていたか？

3年の6月頃までは普通にアルバイトしていました(おそらく週3くらい)。それ以降は、同じ雇われ先にて特殊な形で続けていました。具体的言うと、バイト先に出向くのではなく、時間問わずできる自宅でのパソコン作業等です。ですが、冬ぐらいからはそういった仕事も持ち掛けられなくなったため、やめたも同然でした(笑)。やめてはいなかったの
で、就職が決まった際、その旨を話したらまた現場に戻ってきてほしいと言っていたので、就活終了後にまた復帰しました。

〈反省点と生きた経験〉

・反省点

自身の就活の反省点は、視野が狭い就活だった点です。公務員が第一志望だったとしても、もう少し民間企業と向き合えていれば、様々な考えを持ったうえで就活ができたかなと思います。

・生きた経験

私はゼミ以外でも年代の違う人やいろんな考えを持った人との関わりが多かったことが、就活に非常に生きたと思います。最終面接というと、50代以上でそれなりの地位の人と話すということが多いかと思います。私はいつも通りおじさんと会話すればいいという勢いで内定先の最終面接に挑みましたし、討論では、自分らしさは失わずに、でも他人の意見はしっかり聞くといったことができたと思います。

〈最後に〉

一言いいたいのは、周りの人の言葉をすべて鵜呑みにして自分を見失わないでほしいということです。自分と周囲の人の考えは違うこともあるし、面接練習でその人にはこういわれたけど別の人には真逆のことを言われた、なんてこともあるかもしれません。でも最後に決めるのは自分です。もちろん周りからもらうアドバイスは重要ですが。まずは就活が終わったとき、入社したときにここでよかったと思えるような企業、自治体に内定がもらえるよう頑張ってください！